

2019年度 I. 特定研究開発助成 申請書サンプル

申請書①【基本情報】（I 特定研究開発助成、II 開発助成、III 研究助成 共通）

2019年 月 日

I 申請者（主たる研究開発者） ふりがな 氏 名	学 位 性 別 年 齢 h-index
所属機関・部署	役 職
所在地 電 話 E-mail	携帯電話 FAX
所属学会名	
II 共同研究開発者	
1 ふりがな 氏 名	年 齢
所属機関・部署	役 職
2 ふりがな 氏 名	年 齢
所属機関・部署	役 職
3 ふりがな 氏 名	年 齢
所属機関・部署	役 職
4 ふりがな 氏 名	年 齢
所属機関・部署	役 職
III 本申請のテーマ名	
IV 本申請のキーワード	
V 関連研究開発に対する他所からの助成金、補助金の有無	
無し	

上記のとおり、公益財団法人テルモ生命科学振興財団の研究開発助成金候補者を推薦します。	
所在地	
所属機関・部署	
推薦者名	④ 役 職

受付番号	
------	--

申請書③【事業化の検討】（Ⅰ 特定研究開発助成、Ⅱ 開発助成 共通）

上市後の医療機器・再生医療等製品の事業性に関する検討（図表可）

（a）マーケティング

①対象疾病・疾患、対象又は潜在患者数、対象とする国、地域
・対象疾病・疾患： ・対象患者数又は潜在患者数： ・対象とする国、地域：
②使用場所・環境（病院、診療所、家庭等）
③競合する診断治療方法や医療機器と市場規模や課題 ※市場規模については定量的に記載願います。
④代替できる診断治療方法と市場規模や課題 ※市場規模については定量的に記載願います。
⑤開発製品を必要とする理由
⑥開発製品が医療にもたらす具体的価値

（b）経済性

①現在の診断治療方法とのコスト比較
②代替できる診断治療方法とのコスト比較
③開発製品が医療経済にもたらす具体的価値（コストダウン額、短縮時間など）
④想定されるユーザー・販売方法
⑤医療従事者へのトレーニングや資格制度の要否

（c）認可・知財・生産

①現在の研究開発ステージ（探索、研究、開発、臨床）
②想定販売価格と年間販売数量 ※市場導入から5年以内について記載願います。 ・想定販売価格： ・年間販売数量：
③協力企業の見通し（開発、生産、販売）
④保有又は出願中の知的財産権や新たな取得の見通し
⑤非臨床試験、臨床研究、治験実施の要否と試験時期
⑥日本、欧州、米国の認可取得の予定と認可予定時期
⑦想定される医療機器のクラス分類（日本）（※再生医療開発の場合は記入不要）
⑧市場導入の時期と投資金額 ・市場導入の時期： ・投資金額：
⑨想定される医療リスクとリスク回避の見通し
⑩有効性の評価尺度（QOL、QALY、疾病発生率等）

※申請者の略歴から論文まで必ず9ページ以内にまとめてください。

※本注釈、申請書中の四角枠内の注釈、不要な行は最終的に削除可。